

# いわきで学ぶ (学習テーマのご提案)

いわき市は学びと体験の宝庫。全国から教育旅行や視察で多くの方がお見えになります。  
いわき市ならではの「特徴的な学習テーマ」を紹介します。

## 学習テーマ1

### 震災学習

(震災の記憶と復興・防災)



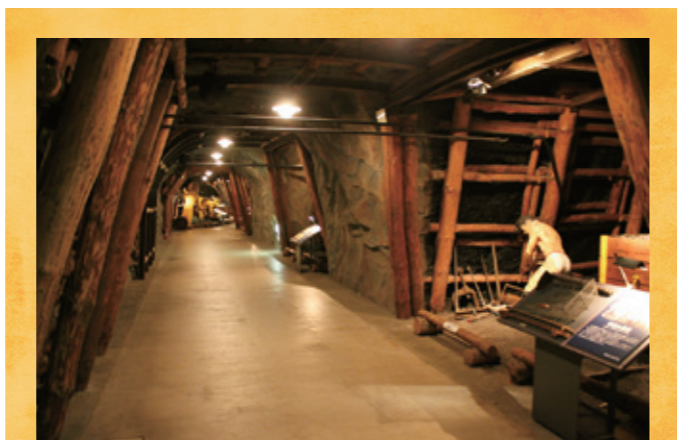
2011年3月に三陸沖を震源として発生した東日本大震災。いわき市も地震や津波で多くの人命と財産が奪われました。実際に震災を体験した震災語り部が、当時の状況や行動、思いなどを通して、皆様に貴重な経験や教訓を伝える講話を行っています。また、市内の震災関連施設や展示、防災施設等をご覧頂くことで、震災から復興までの歩み、災害への備えなどを学べます。

## 学習テーマ2

### 常磐炭田の歴史



明治から昭和初期にかけて、日本の産業発展を支えた石炭産業。当時、いわき市には国内有数の産出量を誇る「常磐炭田」がありました。エネルギーが石炭から石油へと移り変わるなか、いわき市の主要な産業も石炭関連産業から工業や観光業へとダイナミックに転換していきます。「いわき市石炭・化石館ほるる」や常磐炭田産業遺産を巡って、いわき市と炭坑の歴史について学びます。



# 震災学習

2011年3月11日  
あの日の記憶を伝承していく義務がある



いわき市は、東日本大震災により、地震(最大震度6弱)と津波(最大津波高8.57m)に襲われ、沿岸部をはじめ、市内全域に甚大な被害が生じました。

また、震災を起因とした東京電力福島第一原子力発電所事故による影響や、風評被害も深刻です。

しかし、国内外からの温かいご支援により、私たちは着実に復興に向けて歩みを進めております。震災から得た教訓を広く皆様に伝えることで、減災、防災にお役に立ちたいと考えております。

## モデルコース①

### 震災といわき

いわき震災伝承みらい館  
(所要時間60分)



- ・パネル展示、津波などの映像展示、現物展示
- ・クイズ形式のタッチパネル展示

移動時間約10分

防潮堤、豊園公園(防災公園)視察  
(所要時間60分)



- ・巨大な防潮堤や防災緑地、防災機能を有する公園などの視察
- ・震災語り部による講話(屋外)

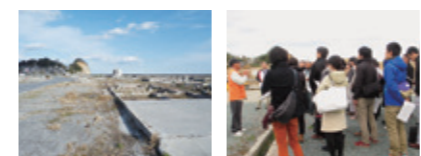
移動時間約20分

いわき・ら・ミュウ(3.11いわきの東日本大震災展)  
(所要時間60分)(お食事可能)



- ・震災の被害状況や実際の避難所の様子がわかる展示
- ・震災当時の様子を収めたDVDの視聴や施設復旧の取組の説明

※所要時間と移動時間は目安です。また、移動時間は車やバスを想定しております。



## モデルコース②

### 津波と原発事故

地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館  
(所要時間60分)



- ・津波避難ビルの機能を持つ施設の視察
- ・震災時の写真やパネル展示を震災語り部が説明

移動時間約5分

久之浜漁港  
(所要時間30分)



- ・実際に津波が押し寄せた漁港の状況や避難についての震災語り部の講話

移動時間約20分

Jヴィレッジ  
(所要時間60分)(お食事可能)



- ・震災直後、原発事故収束に向けた前線基地となった時の様子の説明
- ・ナショナルトレーニングセンターとして再開した施設の視察

移動時間約30分

東日本大震災・原子力災害伝承館  
(所要時間60分)



- ・地震、津波被害から原子力発電所事故に至る流れや、復興への取組について、映像・パネル・実物展示で解説

## いわき市の被害状況(R3.12.28時点)

### ① 人的被害 死者468名

直接死293名、関連死138名、  
死亡認定を受けた行方不明者数37名

### ② 建物被害

(住 家) 全壊 4,644棟、大規模半壊 6,469棟、  
半壊 26,452棟、一部損壊 26,004棟  
(非住家) 全壊 3,258棟、大規模半壊 2,784棟、  
半壊 6,694棟、一部損壊 14,875棟  
(合 計) 全壊 7,902棟、大規模半壊 9,253棟、  
半壊 33,146棟、一部損壊 40,879棟

## いわき市の津波の波高

① 久之浜町田之網浜川 (103m)	7.45m	⑦ 永崎字川畑 (163m)	5.38m
② 四倉町字東二丁目 (142m)	7.55m	⑧ 小名浜下神白字松下 (56m)	6.81m
③ 平磯町字峰 (169m)	5.08m	⑨ 岩間町若下 (166m)	7.66m
④ 平磯町字中街 (151m)	8.51m	⑩ 錦町須賀 (169m)	6.7m
⑤ 平磯町字下町 (103m)	8.57m	⑪ 勿来町九面九浦町 (13m)	4.9m
⑥ 江名字江ノ浦 (18m)	6.81m		

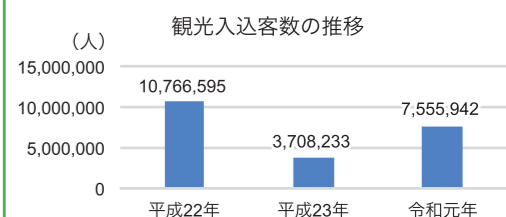
※波高は、TP(東京湾平均海面)からの高さ  
※( )内は、海岸から測定地点までの距離

公益社団法人土木学会「東北地方太平洋沖地震津波調査グループ」  
(<http://www.coastal.jp/tp/>)による速報値(2012年2月3日参照)

## いわきの観光に与えた影響

東日本大震災の発生した平成23年、いわき市は観光面においても大打撃を受けました。市内全ての海水浴場が開設を中止したことや、一部の観光施設が長期の休業を余儀なくされたこと等により、この年の観光入込客数は、前年に比べ約706万人減少しました。

依然として観光入込客数は震災前の7~8割程度に留まっており、震災以前の活気を取り戻すことが課題となっています。



いわき震災伝承みらい館

「いわき震災伝承みらい館」は、地震、津波に加え、原発事故が重なるという未曾有の複合災害に見舞われた、いわき市の震災経験をあらためて捉えなおし、震災の記憶や教訓を風化させず確実に後世へと伝えていくことを目的とした施設です。

展示室では、被害の状況や復旧・復興についての「パネル展示」、災害や避難所生活などについて学ぶ「タッチパネル展示」、津波の被害にあった旧豊間中学校の黒板等の「実物展示」を行っているほか、実際の津波映像等をご覧いただけます。



施設利用者の声

実際に震災の被害にあわれた方からお話を聞く機会はあまりないので、貴重な経験になった。私は震災によって被害を受けることはなかったものの、津波の映像などにはやはり恐怖を覚えた。私は福島のお食べ物も、観光地も、そして人も、本当に大好きです。これからも応援しています。(山梨県 10代 女性 高校生)



遠い地域での悲しい出来事ではなかったが、ここに訪れて様々な事が身近に感じられ考えさせられた。地元の人が明るく生きている姿に胸打たれました。(東京都 40代 男性 会社員)



震災語り部(いわき語り部の会)

地震や津波による被害をはじめ、原発事故による風評被害など、私たちには忘れてはならない記憶と、大切な想いがあります。

全国各地から訪れる「被災地で学びたい」「被災地を応援したい」という方々のために、未曾有の災害を実際に体験した震災語り部が、自身の体験や教訓、復興の状況、災害への備え等についての講話を行っております。



震災語り部からのメッセージ

佐藤トミ子さん

東日本大震災を受け、人々は悲惨な経験をしました。しかし、多くの方々の温かい支援により、力強く前進することもできました。これらの活動を学ぶことにより、今後起きるであろう災害に、自分たちは、どのように活動していけば良いかを考える参考にしてほしいと思っています。



小野陽洋さん

私は東日本大震災の当日、海岸の目の前に建つ自室から逃げずに、2階で津波に飲まれました。日常に、もしも今いる場所で災害が起きたらどう行動するか、考える時間を持ってほしい。大切な命、「逃げて助かるう！」



いわき市薄磯3-11 TEL:0246-38-4894 駐車場:普通32 大型2 入館料:無料  
休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始

地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館

災害時の拠点施設として、平成28年3月に供用開始。2階の「防災まちづくり資料室」には震災時の写真や津波被害の状況を説明する展示コーナーが設置されております。



いわき市久之浜町久之浜字中町32 TEL:0246-82-2111  
駐車場:要相談 入館料:無料

薄磯・豊間地区沿岸部の防潮堤



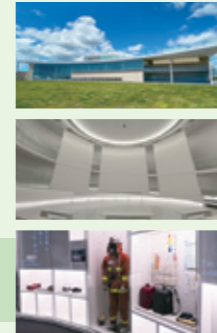
「みらい館」の建つ薄磯・豊間地区は、8.3mの津波により堤防が破壊され、沿岸部に壊滅的な被害を受けました。現在は強固な堤防の整備と居住区域の高台移転が行われています。

～いわき市から足を延ばして～

いわき市の北に位置する双葉地区で、東京電力福島第一原子力発電所の事故に関連した内容などを学べます。

東日本大震災・原子力災害伝承館

「東日本大震災・原子力災害伝承館」は、世界初の甚大な複合災害の記録や資料を収集・保存し、研修および研究に活用することにより、その教訓と復興のあゆみを後世に継承する施設です。展示ブースはプロローグシアターと5つのゾーンに分かれ、地震・津波災害から原子力発電所事故に至る流れや事故直後の状況、復興に向けた取組等を、様々な資料から学ぶことができます。



双葉郡双葉町大字中野字高田39  
TEL:0240-23-4402 駐車場:普通 111 大型10  
入場料:大人 600円/大人 団体(20名以上) 480円  
小中高 300円/小中高 団体(20名以上) 240円

震災遺構 浪江町立請戸小学校

東日本大震災及び原発事故により甚大な被害を受けましたが、奇跡的に全員が無事避難することができた学校です。実際に校舎に入って見学することができ、町の概要や学校の避難の様子、被害状況などがパネル・映像等で展示されています。



双葉郡浪江町大字請戸字持平56  
TEL:0240-23-7041  
駐車場:普通 20 大型 5  
入場料:一般 300円(250円)  
高校生 200円(150円)  
小・中 100円(50円)  
※( )内は団体料金(20名以上)

特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま

「リプルンふくしま」では、特定廃棄物の埋立処分内容や、安全を確保するための取組、処分の進捗状況、モニタリング結果などの最新の情報を公開しています。また、処分場の見学も可能です。(要予約)



双葉郡富岡町大字上郡山字太田526-7  
TEL:0240-23-7781 駐車場:有(大型可) 入場料:無料

いわき・ら・ら・ミュウ

市内最大の観光物産センターである本施設は、東日本大震災の津波により、壊滅的な被害を受けました。施設2階の「3.11いわきの東日本大震災展」では、当時の様子を記録したDVDや実際の避難所の様子をご覧頂けます。また、施設内の研修室で施設職員が津波による施設の被害状況や、復旧に向けた取組みについて事前予約にて説明します。



お食事やお土産などのお買い物もお楽しみください。



いわき市小名浜字辰巳町43-1 TEL:0246-92-3701 駐車場:大型可

とみおかアーカイブ・ミュージアム

「とみおかアーカイブ・ミュージアム」では、津波に巻き込まれたパトカーをはじめとした約430点の資料を展示しており、震災前の住民の生活の様子と比較しながら、震災・原子力災害を境に、町にどのような変化が起きたのかを伝えています。



双葉郡富岡町大字本岡字王塚760-1  
TEL:0240-25-8644  
駐車場:有(大型5) 入場料:無料

東京電力廃炉資料館

「東京電力廃炉資料館」では、福島第一原子力発電所で起きた、事故の事実と廃炉作業の現状を映像や模型、パネルを使用して解説しています。廃炉作業現場で活躍する遠隔ロボットも展示しています。



双葉郡富岡町大字小浜字中央378  
TEL:0120-502-957  
駐車場:有(大型可) 入場料:無料

Jヴィレッジ

震災後、Jヴィレッジは原発事故収束基地に姿を変えましたが、その役目を終えた現在、「ゼロから復活する軌跡」からの「まなび」や「きづき」を得られる場として、施設見学・震災学習・企業研修等で使用することができます。

また、ホテル(総客室数200)・レストラン・天然/人工芝ピッチ・全天候型練習場・フィットネスジムなど、トップアスリートも利用する充実の施設をご利用頂けます。



双葉郡楢葉町大字山田岡字森8  
TEL:0240-26-0111 駐車場:有(大型可)